

品川区新庁舎整備 NEWS



第9回 品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会が令和4年7月19日(火)中小企業センターで開催されました。本紙では、「整備方針」・「建築計画」・「事業費および財源」・「事業手法」についての検討結果や、策定委員会の様子などについてお伝えしていきます。



委員会の概要

今回の委員会では、導入機能の整備方針のうち共通機能として「ユニバーサルデザイン」「DXの推進」「セキュリティ対策」を、施設計画として「建築計画」「外観計画」について事務局より説明した後、「事業費および財源」と「事業計画(事業手法)」について確認いただきました。

各委員からは、基本計画(素案)をまとめにあたり活発なご意見をいただきました。

整備方針の検討(共通機能)

【ユニバーサルデザイン】

➡ 誰もがわかりやすく、利用しやすい庁舎を目指す

- ユニバーサルデザインの導入
- 利用しやすい移動空間
- わかりやすいサイン・案内設備
- 利用しやすい環境整備



わかりやすいサイン・案内設備・キッズコーナーを備えた総合窓口



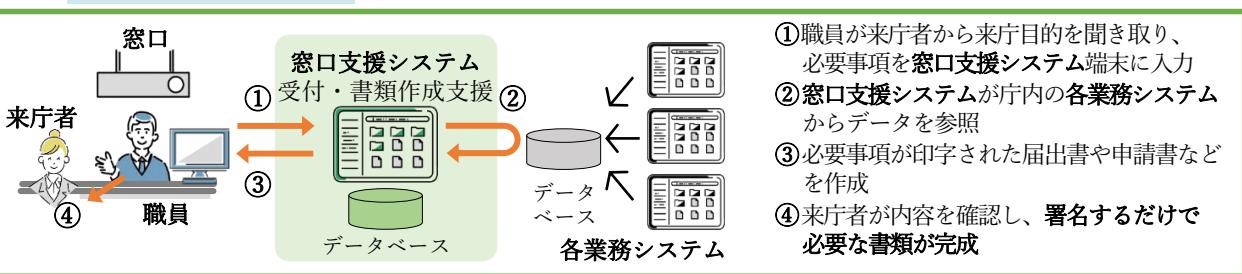
誰もが利用しやすいトイレの整備事例

(出典:岐阜市HP) (出典:国交省「共生社会におけるトイレの環境整備に関する調査研究」)

【DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進】

➡ DXを推進し区民の利便性向上と業務効率化を目指す

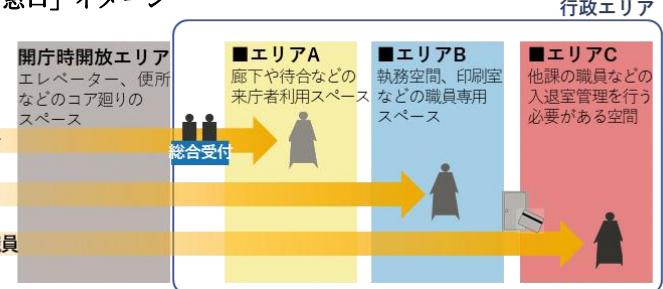
- ICT(情報通信技術)の活用
- 区民サービスの向上や新しい働き方への対応



【セキュリティ対策】

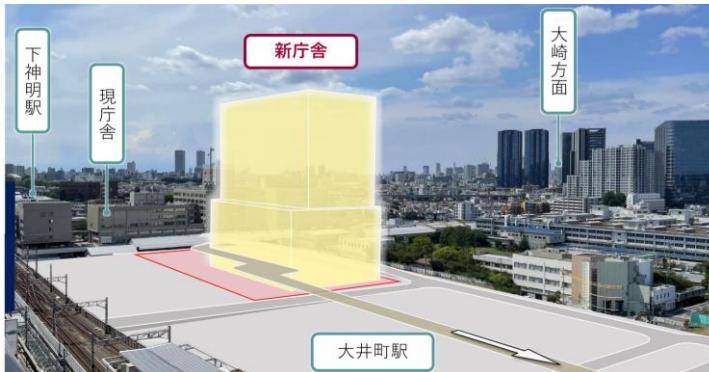
➡ 利便性・効率性を向上させたセキュリティ環境を整える

- セキュリティ対策の強化
- セキュリティゾーニング
- 休日・夜間のセキュリティ確保

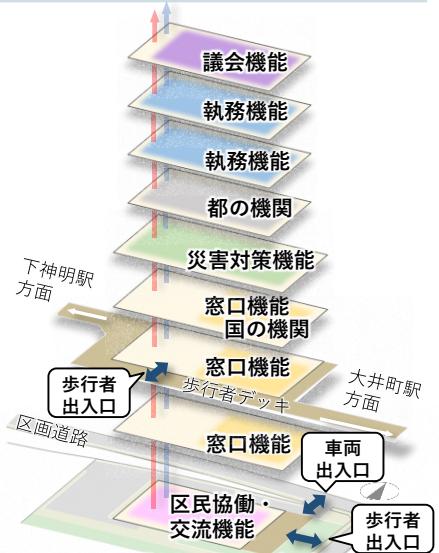


建築計画（外観計画とゾーニングイメージ）

区民に長く愛され、周辺市街地と調和のとれた
外観を形成する



※建物形状は現段階でのイメージです。今後変更となります。



※建物形状、各機能配置および出入口位置などはイメージです。

※図は各階層の代表的なフロアを示したもので、実際の階数とは異なります。

事業費と事業計画（事業手法）

概算事業費（税込）

調査・設計費	約20億円以上	工事監理費含む
建設工事費	約360億円以上	60万円/m ² 以上×60,000m ² ※単価は先行事例などより想定
外構工事費	約20億円以上	歩行者デッキなど
合計	約400億円以上	※物価状況やZEB化対応など より価格の上昇が見込まれる

※国および都の機関の整備費を含みます。

※備品更新費、移転費、現庁舎の解体工事費は含んでいません。

新庁舎の事業手法には、現庁舎の課題や区民要望へ対応していくために**早期に事業着手**できることや、設計・施工の各段階で**区民や区の意向を反映**できることに加え、**区内企業が参加しやすい**ことが求められます。

本事業においては、
従来方式を採用します。

委員からの主な意見

- 協働交流スペースに売店や喫茶店など、障害者の方の働く場所を検討してほしい。
- 「ユニバーサルデザインの7原則」への対応について、考え方を示してはどうか。
- オールジェンダートイレは、職員用についても検討してほしい。
- 窓口での申請手数料、食堂などの支払いでもキャッシュレスを進めてほしい。
- どんなにITの使い勝手がよくなっても、対面対応でしか提供できない価値がある。
- ICカードでのエレベーター制御など、セキュリティの新しい考え方を取り入れてほしい。
- 「庁舎食堂に関する職員アンケート調査」の結果を、基本計画素案の中で確認できないか。
- 事業費やスケジュールは変更の可能性があることを、しっかりと説明できるように。
- 説明会の開催について、広報しながら大きく掲載するなど周知の工夫をしてほしい。

コラム



都内公共建築物で初めて「Nearly ZEB」の認証を取得した品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」が、本年5月に戸越公園内にオープンしました。



次回案内

第10回策定委員会

日時：令和4年10月17日（月）午後2時～

場所：品川区役所 議会棟 第一委員会室

内容：パブリックコメントの結果

基本計画案の答申

※第9回策定委員会に

関する資料はこちらから➡

ご意見・お問い合わせ

品川区 総務部 新庁舎整備課 新庁舎整備担当

連絡先 電話：03-5742-7801

FAX：03-5742-7143

※ご意見はこちらへ➡

mail : shinchosha@city.shinagawa.tokyo.jp

